

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成29年 9月27日(水) 5校時
児 童 第1学年 男1名 計1名
指導者 斉藤 龍一

1 単元名 おはなしをよもう

2 学習材名 「サラダでげんき」 (東京書籍下)

3 単元について

(1) 児童について

児童は「おおきなかぶ」で、場面の変化の様子や登場人物の行動について想像しながら読む学習をした。登場人物がどんな様子でかぶを抜いているのかを想像しながら読み、楽しんで音読することができた。また、読むことの学習では、1年上巻「とんこととん」から継続して、登場人物の様子を想像し、「! (びっくりした、おどろいた)」、「? (不思議な)」、「赤い♡ (うれしい、たのしい)」、「青い♡ (かなしい)」と4つに分けて想像したことを記号や言葉で表す学習も経験してきている。しかし、各場面の様子の変化や、登場人物の行動が変化していくことを把握して、その様子を想像しながら読む力は十分に身に付いているとはいえない。

話し合う活動では、教師と児童の2人で、または教師がパペットを使って児童と同じ目線になって行うなど、工夫して学習してきた。しかし、自分の考えを表す語彙も少なく、自分の思いや考えを伝える力は十分ではない。

読書については、年間100冊という目標を立て、朝読書や家庭読書に取り組んでいる。意欲的に取り組んでいるが、まだ自分で内容を読むことができる本が少なく、途中で読むのをやめたり、内容を理解しないまま読み進めたりしていることもある。

(2) 学習材について

この学習材は、お母さんのためにサラダを作ろうとするりっちゃんの前に、動物たちが次々と出てきて、サラダに入れる材料とその効果を教えるという楽しいお話である。動物たちの登場によって場面が分かれ、動物とりっちゃんの同じようなやりとりが繰り返される。教科書の1年上「おおきなかぶ」や「どうやってみをまもるのかな」などと同様に同じような文型が繰り返されており、児童にとって読みやすい内容と考えられる。

文章の内容は、動物たちの登場により場面が変わるので、場面の様子の変化を捉えやすい。また、登場人物の会話文や挿絵を手掛かりに様子を想像することもできる。この学習材は、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む力を付けるのに適していると考えられる。

(3) 指導にあたって

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第1学年の「C読むこと」の指導事項「ウ場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」である。

単元を通じた言語活動として、「想像した登場人物の行動と自分の経験を結び付けて手紙を書くこと」を位置付ける。手紙には、各場面でのりっちゃんや動物たちの行動や会話から想像した様子を自分の経験と結び付けながらりっちゃんに教えるように書いていく。最後には、自分が登場人物の一人になったとしたら、りっちゃんに何をしておあげるかを自分の経験と結び付け想像して書く。「手紙」は、話し言葉で書くことができるため児童にとって書きやすいと考える。また、「りっちゃん」という相手意識をもち、登場人物の様子を楽しみながら想像することができる。と考える。

第一次では、どんなサラダが好きか、どんなサラダを食べたことがあるかなど想像を膨らませながら、学習内容への興味関心をもたせる。自分ならどんなものをサラダに入れたいか想像させ、それを手紙に書いてりっちゃんに教えることを提示し、単元の学習課題を一緒に考える。

第二次では、それぞれの動物たちとりっちゃんのやりとりをもとにしなが、場面の様子を想像して読んでいく。動物の登場の仕方やおすすめる食材、すすめた食材を食べるとどうなるかという三つのことが、それぞれの動物たちの特徴に合わせて話されていることを捉える。また、登場人物の会話や行動から想像した様子を、自分の経験と結び付けて解釈し、想像したことをりっちゃんへの手紙に書かせる。

第三次では、第二次で、動物たちは自分の好きなものや特技を話していたことを想起させながら、自分がりっちゃんに教えたサラダに入れる食材について手紙を書く。その食材は、自分の経験上、元気になったものとし、経験と結び付けて想像を広げさせたい。

4 単元の目標

○登場人物の行動や場面の展開について、想像を広げながら読もうとすることができる。

【関心・意欲・態度】

◎場面ごとの登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読むことができる。

【読むことC(1)ウ】

○登場人物の行動と自分の経験を結び付けながら、想像したことを手紙に書いて発表することができる。

【読むことC(1)オ】

○主語と述語の関係に気を付けて読むことができる。

【伝国(1)イ(カ)】

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	○登場人物の行動や場面の展開について、想像を広げながら読もうとしている。
読む力	◎場面ごとの登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んでいる。(ウ) ○登場人物の行動と自分の経験を結び付けながら、想像したことを手紙に書いて発表している。(オ)
言語についての知識・理解・技能	○誰が何をしたのかに気を付けて読んでいる。イ(カ)

6 単元の指導計画（全9時間）

次	時	主な学習活動	評価規準（評価方法）
つ。第一次 学習の見通しをも	1	本単元の学習について、題名や絵、写真から予想したり、同系統の学習やつながりを考えたりして、児童が主体的に本単元の学習活動に取り組むことができるようにする。【視点1】	
		○「サラダでげんき」の全文を通読し、内容の大体を捉え、学習の見通しを立てる。 ○サラダに何を入りたいか想像を膨らませる。	【関】「サラダでげんき」の内容に関心をもち、楽しんで読もうとしている。 (観察、ノート)
第二次 ことを読み取る。 登場人物を中心に場面の様子の变化を把握しながら、想像した	2	○りっちゃんがサラダを作ることになった場面の様子を想像しながら読む。	【読】サラダを作ることになったりっちゃんの様子を、想像を広げながら読んでいる。 (発言、ノート)
	3	○のらねこがしたことや、かつおぶしをサラダにかけた場面のりっちゃんの様子を想像しながら読む。	【読】のらねことりっちゃんの様子を、想像を広げながら読んでいる。(発言、ノート)
	4	○となりの犬がしたことや、いそいでハムをサラダにいれた場面のりっちゃんの様子を想像しながら読む。	【読】となりの犬とりっちゃんの様子を、想像を広げながら読んでいる。(発言、ノート)
	5	○すずめとありがしたことや、すすめられたものをサラダに加えた場面のりっちゃんの様子を想像しながら読む。	【読】すずめやありとりっちゃんの様子を、想像を広げながら読んでいる。 (発言、ノート)
	6	○馬と白くまがしたことや、にんじんをくわえたり、電報を読んだりした場面のりっちゃんの様子を想像しながら読む。	【読】馬や白くまとりっちゃんの様子を、想像を広げながら読んでいる。(発言、ノート)
	7 (本時)	○アフリカ象がしたことや、サラダが出来上がった場面のりっちゃんの様子を想像しながら読む。	【読】アフリカ象とりっちゃんの様子を、想像を広げながら読んでいる。(発言、ノート)
	第三次 ことを手紙に書いて発表する。 りっちゃんに書いて発表する。	8 9	○どんな動物がどんな順で出てきたか確かめる。 ○りっちゃんの、サラダに入れてあげたい食材について考えて、自分の経験と結び付けて、想像を広げて手紙に書く。 ○書いた手紙を教師に発表して伝える。 ○単元の学習を振り返る。
本単元の学習の振り返りを行い、できるようになったことを確かめる。【視点1】			

7 本時の指導

(1) 目標

アフリカ象とりっちゃんの様子を、想像を広げて読むことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ○支援 ◎評価
導入 5分	<p>1 前時までの学習を振り返る。【視点1】</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>アフリカぞうとりっちゃんのようにすをそぞうしよう。</p> </div>	<p>○前時までに読んできた内容について簡単に振り返ることで、本時への興味をもたせる。</p>
展開 35分	<p>3 本時の学習場面の音読をする。</p> <p>4 学習課題を解決する。【視点2】</p> <p>(1) アフリカ象とりっちゃんの様子が分かる部分を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ象とりっちゃんの様子が分かる部分（会話文、動作を表す言葉）にサイドラインを引く。 <p>(2) アフリカ象とりっちゃんの様子について想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ象やりっちゃんの様子が分かる部分を発表する。 ・アフリカ象が手伝う様子を想像する。 ・「いただきましょ。」と話したりっちゃんの様子を想像する。 <p>(3) 想像したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で想像したことを用いてりっちゃんへ手紙を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈例〉りっちゃんへ アフリカぞうがじょうずにサラダをまぜてくれたね。りっちゃん、サラダができてうれしそうにおはなししていたね。ぼくも、お礼がやっとできたときはうれしかったから、そのきもちよくわかるよ。よかったね。</p> </div>	<p>○本時の内容を読み取ることができるように、だれがどんなことをしたかに気を付けさせながら音読させる。(P.14, L7~P.16 最後)</p> <p>○アフリカ象やりっちゃんの様子が分かる部分（会話文、動作を表す言葉）に自分でサイドラインを引かせる。</p> <p>○アフリカ象やりっちゃんの様子について想像したことを板書に位置付け、まとめる際の支援とする。想像を広げるために動作化も必要に応じて行う。</p> <p>○自分の経験と話の内容を結び付けながら想像させ、想像したことを板書に位置付ける。</p> <p>○サラダが出来た場面の様子を捉えるために、様々な動物が出てきたことを振り返りながらりっちゃんの様子を想像させる。</p> <p>○板書をもとに、場面の中で自分が想像したことを自分の経験と結び付けて手紙を書かせる。</p> <p>◎【読】アフリカ象とりっちゃんの様子を、想像を広げながら読んでいる。 (発言・ノート)</p>
終末 5分	<p>5 学習の振り返りをする。【視点1・2】</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○学習を通して分かったことや感想などを書かせる。</p>

(3) 評価

B アフリカ象とりっちゃんの様子について想像したことを、自分の経験と結びつけて手紙に書いている。

支援：アフリカ象の行動やりっちゃんの様子から想像したことを板書から選んで書かせる。

8 板書計画

<p>サラダでげんき かどの えいこ アフリカぞうとりっちゃんの ようすをそうぞうしよう。</p>	<p>「いや いや、これからは ぼくの ごと。」 スプーンを はなで にぎって、 ・じょうずに ・せんぶがまざるように かづよくくりん、くりんとまぜました。</p>	<p>・やっどできたからうれしい 「おかあさん、さあ、いっしょにサラダ ・うれしそうに ・げんきよく をいただきますよう。」</p>	<p>まとめ 〈例〉りっちゃんへ アフリカぞうがじょうずに サラダをまぜてくれたね。りっ ちゃんは、サラダができてうれ しそうにおはなしていたね。 ぼくも、おりょうりがやっどで きたときは、うれしかったか ら、そのきもちよくわかるよ よかったね。</p>
---	--	--	---